

松戸市公共下水道事業 事業再々評価 (手賀沼処理区)

平成20年 11月
千葉県 松戸市

松戸市の概要



- 千葉県北西部に位置し、江戸川をはさんで東京都と埼玉県に隣接
- 人口47万人を擁し、首都東京に隣接した常磐線沿線の都市

事業の必要性(手賀沼処理区)

生活排水が流れ込む手賀沼



● 公共用水域の保全

- ・手賀沼の水質の改善に貢献する。
- ・水道水源の上流部に位置し、水質の保全を図る。

近年下水道が整備された状態の手賀沼

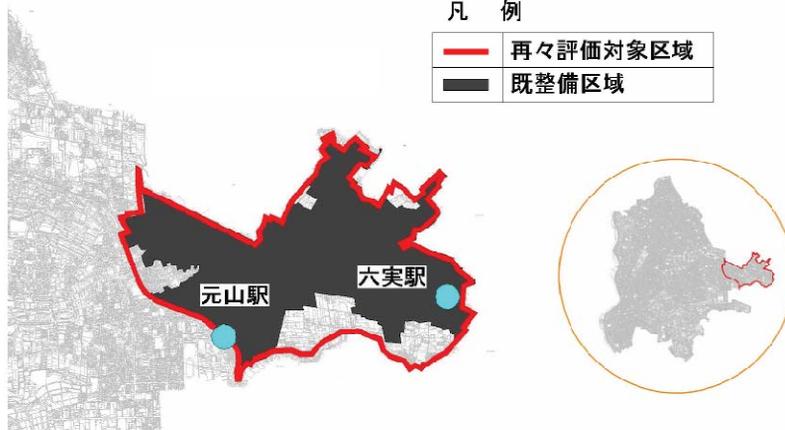


- ・下水道の整備が進むにつれ、水質も改善傾向にあり、良好な環境、安全な暮らしを提供するために必要な施設である。

松戸市公共下水道事業の概要(手賀沼処理区)

凡 例

	再々評価対象区域
	既整備区域



手賀沼処理区

指標1 費用効果分析

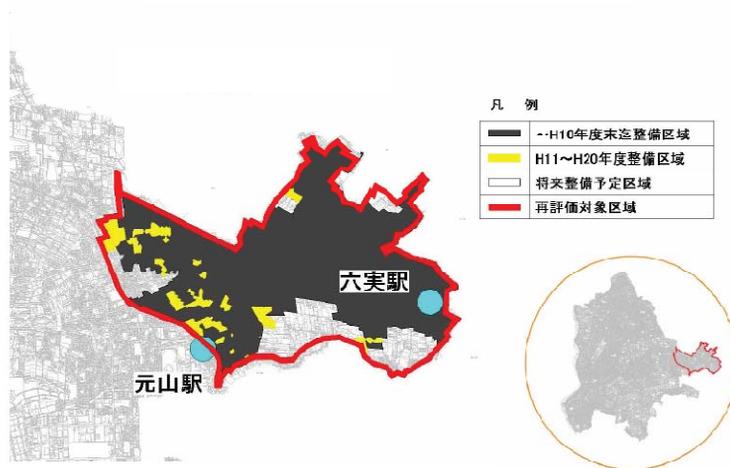
指 標	手賀沼処理区
総便益(B)	710億円
総費用(C)	520億円
費用便益比(B/C)	1.4

手賀沼処理区

指標2 事業の進捗状況

指 標	手賀沼処理区
事業の進捗状況	事業計画356haに対して、328haを整備し、整備率は92%である。
処理場用地の取得状況	—
処理施設の供用状況	—
供用開始区域の接続状況	接続率83%である。
地元情勢等	市議会及び地元住民の理解・協力は得られている。

進捗状況(手賀沼処理区)



手賀沼処理区

指標3 社会経済情勢等

指 標	手賀沼処理区
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設置等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

手賀沼処理区

指標4 コスト縮減・代替案

指 標	手賀沼処理区
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

手賀沼処理区

対応方針(案)

松戸市公共下水道事業は、順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続する方針です。

松戸市公共下水道事業 事業再々評価 (江戸川左岸処理区)

平成20年 11月
千葉県 松戸市

松戸市の概要



- 千葉県北西部に位置し、江戸川をはさんで東京都と埼玉県に隣接
- 人口47万人を擁し、首都東京に隣接した常磐線沿線の都市

事業の必要性(江戸川左岸処理区)

生活排水が流れ込む新坂川



● 公共用水域の保全

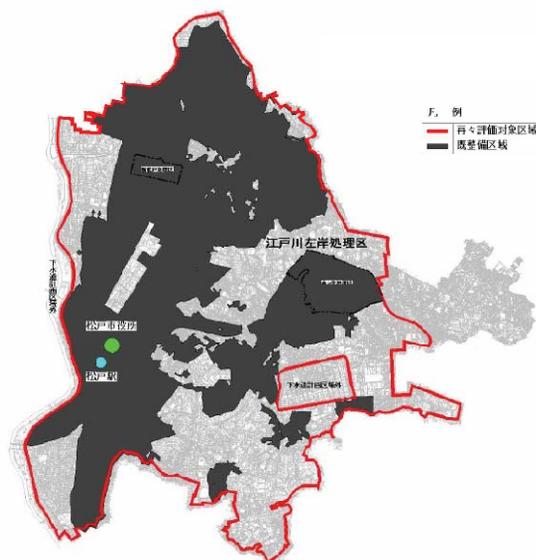
- ・東京湾の水質の改善に貢献する。
- ・水道水源の上流部に位置し、水質の保全を図る。

近年下水道が整備された状態の新坂川



- ・下水道の整備が進むにつれ、水質も改善傾向にあり、良好な環境、安全な暮らしを提供するために必要な施設である。

松戸市公共下水道事業の概要(江戸川左岸処理区)



江戸川左岸処理区

指標1 費用効果分析

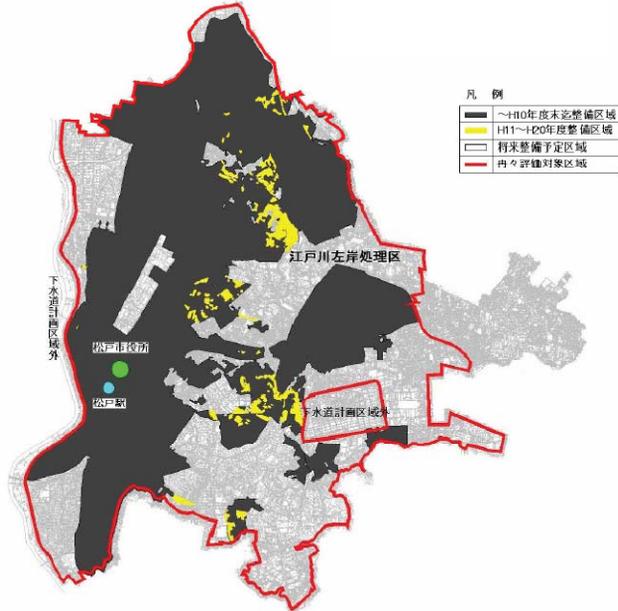
指標	江戸川左岸処理区
総便益(B)	9,429億円
総費用(C)	5,612億円
費用便益比(B/C)	1.7

江戸川左岸処理区

指標2 事業の進捗状況

指標	江戸川左岸処理区
事業の進捗状況	事業計画3,415haに対して、2,916haを整備し、整備率は85%である。
処理場用地の取得状況	—
処理施設の供用状況	—
供用開始区域の接続状況	接続率94%である。
地元情勢等	市議会及び地元住民の理解・協力は得られている。

進捗状況(江戸川左岸処理区)



江戸川左岸処理区

指標3 社会経済情勢等

指 標	江戸川左岸処理区
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設置等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

江戸川左岸処理区

指標4 コスト縮減・代替案

指 標	江戸川左岸処理区
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

江戸川左岸処理区

対応方針(案)

松戸市公共下水道事業は、順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続する方針です。